

令和2年10月1日現在の待機児童数および
「福島市待機児童対策推進パッケージ」について

福島市 こども未来部

- 1 R2.10.1現在の待機児童数(速報値)
- 2 令和2年度「待機児童対策推進パッケージ」
主な実績(R2.4月～10月)
- 3 令和3年4月1日の待機児童解消に向けた取り組み
- 4 令和3年度 待機児童対策推進パッケージ(案)

待機児童の状況

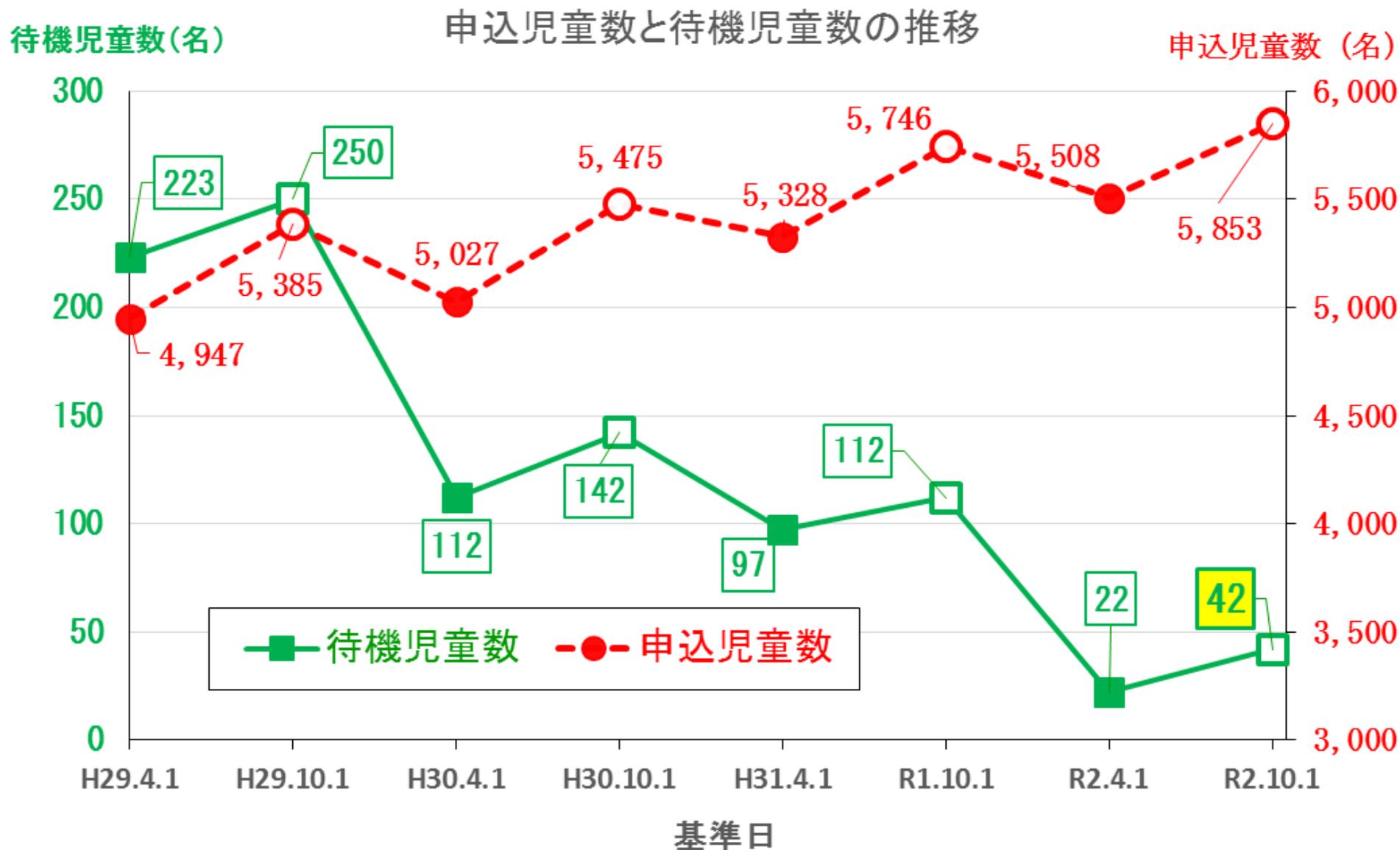
令和2年10月1日現在の待機児童数 42人

今年4月 22人と比べ20人の増加

前年10月 112人と比べ70人の減少

待機児童数の 推移	H29		H30		H31・R元		R2	
	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月
福島市の 待機児童数	223	250	112	142	97	112	22	42
入所 不承諾数	520	667	397	506	410	490	170	254
福島県の 待機児童数	616	853	371	693	274	554	141	—
国の 待機児童数	26,081	55,433	19,895	47,198	16,772	43,822	12,439	—

福島市の待機児童数の推移



(1) 保育施設の充足率

令和2年4月1日と令和2年10月1日現在の状況

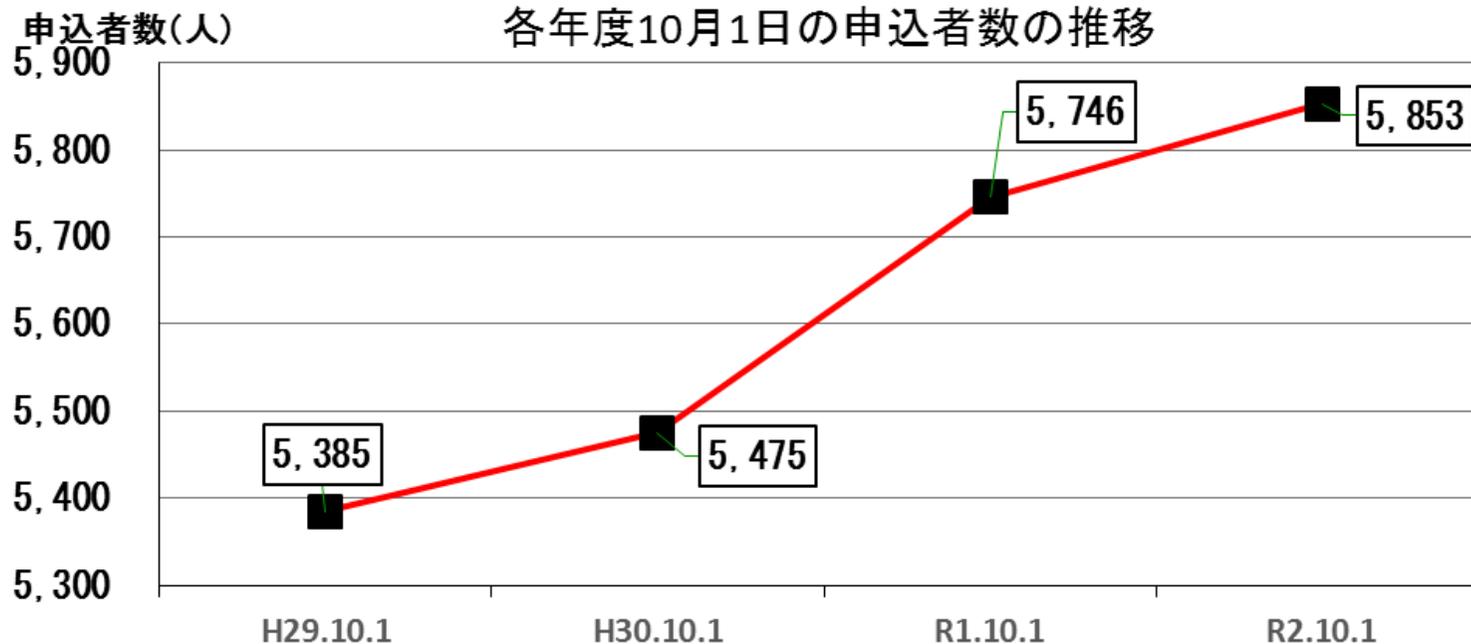
施設類型	入所児童		保育定員		充足率	
	4/1	10/1	4/1	10/1	4/1	10/1
公立保育施設	1,004人	1,017人	1,090人	1,090人	92.1%	93.3%
私立保育所	3,109人	3,224人	2,930人	2,930人	106.1%	110.0%
私立認定こども園	888人	968人	972人	972人	91.4%	99.6%
地域型(小規模)	337人	390人	393人	397人	85.8%	98.2%
合計	5,338人	5,599人	5,385人	5,389人	99.1%	103.9%

充足率の比較

施設類型	4/1	10/1	比較
公立保育施設	92.1%	93.3%	+1.2
私立保育所	106.1%	110.0%	+3.9
私立認定こども園	91.4%	99.6%	+8.2
地域型(小規模)	85.8%	98.2%	+12.4
合計	99.1%	103.9%	+4.8

(2) 申込者数(在園児+新規入所)の増加

申込者数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H29年10月1日	713	973	998	976	849	876	5,385
H30年10月1日	728	1,011	1,021	970	920	825	5,475
R1年10月1日	725	1,034	1,067	1,014	974	932	5,746
R2年10月1日	667	1,019	1,099	1,051	1,020	997	5,853



1 保育の受け皿の拡大

(1) 認可保育定員の増 29人の増加

施設種別	区分	利用保育定員数(人)			変更・整備 時期	H30・R元 定員増 (2か年計)
		変更前	変更後	増減		
地域型(事業内)	定員変更	12	16	4	R2.10.1	905
私立認定こども園	施設整備	55	80	25	R2.11.1	

(2) 保護者相談支援事業

保護者の相談窓口として専任の職員を配置。

保護者のニーズに合う多様な保育施設の紹介を実施。

相談実績	R2.4～10月	R元年度
保育所入所	105	158
幼稚園入園	23	27
入所施設関係	13	22
その他	78	96
合計	219	303

2 保育士の確保

(1) 保育士相談支援事業

- ①保育士メンタルヘルスのため、職場環境などの相談に対応。
- ②潜在保育士からの就労に関する相談に対応。

【就労実績】公立：4人、私立：10人

保育士相談窓口相談件数

相談内容	R2.4～10	R元年度
勤務先施設に関する相談	11	28
就労相談	151	353
その他	18	43
合計	180	424

就労相談からの就労実績

区分	R2.4～10	R元年度
公立	4人	9人
私立	10人	17人
合計	14人	26人

(2) 保育士宿舎借り上げ支援事業

現職保育士の処遇改善として、基準額の3/4(上限)を補助。

【実績】	R2年度(見込)	R元年度
実施施設	19施設	11施設
対象者	38人	17人

(3) 保育士の働きやすい職場づくり事業

保育職場の環境向上のため、施設訪問・ヒアリングを実施。
また、結果を受け「全体会議」で必要な取組み等を協議。

【R2年度訪問 施設数(見込)】	公立 保育施設	私立 保育所	私立認定 こども園	地域型 (小規模)	合計
訪問施設数	2施設	4施設	1施設	3施設	10施設

(4) 保育支援員雇用支援事業

私立保育施設において保育士資格を持っていない方を保育支援員として雇用。

【実績(R2は見込)】	R2.4～10	R元年度
施設数	21施設	20施設
保育支援員数	31人	29人

(5) 公立保育所保育士採用

採用試験を6月に実施した。合格者7人。

《H30～R2年度累計 保育士30人増》

(6) 保育人材バンク

人材バンクに登録した保育士等を、認可保育施設等への就業につなげた。

保育人材バンク 登録・就労実績

【 実 績 】	R2.4～10月		R元年度	
	登録人数	就労	登録人数	就労
保育士 幼稚園教諭	23人	11人	32人	26人
調理師	2人	0人	2人	1人
栄養士	1人	1人	3人	3人
その他	12人	2人	13人	6人
合 計	38人	14人	50人	36人

(7) 保育士等確保対策事業

①認可保育施設見学会（令和2年8月3・4日開催 39人参加）

保育士を志す高校生を対象に、公立認定こども園・私立保育所・地域型保育事業（小規模保育）の施設見学と、現職保育士とのグループワークを行った。

②就職相談会（第1回 令和2年10月24日開催 21人参加）

就業を希望する保育士等が、保育士を募集している認可保育施設から就業に関して直接話を聞く機会を作った。

福島市認可保育施設就職相談会 実績

就職相談会	R2年度①	R1年度①	R1年度②
開催日	R2.10.24	R1.10.26	R2.1.26
参加者	21人	13人	14人
参加施設数(私立)	19	10	11

(8) 潜在保育士就労支援事業

公立保育所(3か所)において研修を実施し、就労を支援。

就労支援(研修)実績	区分	R2.4～10	R元年度
保育施設で研修した人数	公立	※3人	2人
	私立	0人	0人

※うち1名は11月に研修実施。

(9) UIJターン保育士等就労支援事業

県外からの転入保育士等へ就労支援金(最大20万円)を補助。

【実績】	R2.4～10	R元年度
福島市へ転入して保育士として就労した人数	※6人	4人

※うち1名は11月に補助。

(10) 保育士等奨学資金貸付事業

保育士等を目指す学生に修学資金の一部を無利子貸付け。(卒業後の就労状況に応じ返還免除。)

修学先養成施設	R2貸付者数	R元貸付者数
市内の大学等	33人	13人
東北地区の大学等	10人	5人
首都圏の大学等	6人	5人
合 計	49人	23人

(11) 保育するなら福島市！プロモーション事業

保育士募集動画をYouTubeで広告配信し、本市の保育施設で働く魅力を発信。市HP「保育士大募集」ページの閲覧に繋げる。

【 実 績 】	R2年度(R2.8.1～10.31)	R元年度(R2.2.28～3.31)
配信エリア	福島・宮城・山形各県内の主要都市圏、首都圏(一部)	福島市、郡山市、会津若松市、仙台市、東京都
視聴回数	81,149回	22,491回

(1) 保育の受け皿の拡大

① 認可保育施設の保育定員拡大

施設種別	区分	利用保育定員数(人)			整備時期
		整備前	整備後	増減	
私立保育所	施設整備	60	70	10	R2年度中

② 私立幼稚園預かり保育の支援

保育の受け皿として預かり保育を実施する幼稚園の支援を図る。

実績(予定)	令和3年度	令和2年度	令和元年度
実施施設数	8施設(予定)	6施設	5施設

③保護者相談支援事業

保護者相談窓口の情報提供内容を拡充し、私立幼稚園や認可外保育施設など、多様な受け皿を案内する。

④地域型保育(小規模)からの転所促進

入所調整方法を見直して、地域型保育施設卒園児のスムーズな転所を促進し、地域型保育への入所を推進する。

⑤入所選考のAI活用による、マッチング拡大

入所児童の選考作業にAIを活用し、6施設までの希望を可能にすることにより、マッチングの拡大を図る。

(2) 保育士の確保

【潜在保育士の確保】

- ① 保育士等確保対策事業
 - ・ 就職相談会の開催
- ② 潜在保育士就労支援事業
- ③ UIJターン保育士等就労支援事業
- ④ 保育人材バンク事業

【新卒保育士の確保】

- ① 保育士等奨学資金貸付事業
- ② 保育士養成校と連携した保育施設紹介セミナー等の実施

(3) 保育施設トップセミナーの開催

法人・施設のトップを対象としたセミナーの開催により、保育職場の環境改善を図る。

(4) 保育士マネジメント研修の実施

若手・中堅・主任クラスを対象とする階層別の研修を実施し、保育職場の環境向上と離職防止を図る。

(5) 地域型保育事業(小規模保育事業)連携施設設定推進事業

私立幼稚園、私立認可保育施設、小規模保育事業者と市幼稚園・保育課が連携施設について意見交換の場を設定し、実効性のある連携施設のあり方について協議を行う。連携施設の設定により、保護者に小規模保育事業への入所を希望していただけるようにする。

保育の受け皿の拡大

1 施設整備による利用定員拡大

- (1) 国の補助事業を活用した認可保育施設の整備促進
(児童福祉施設等整備事業)
- (2) 企業主導型保育事業整備

2 既存施設での受入拡大

- (1) 幼稚園預かり保育の充実
- (2) 「幼稚園送迎ステーション」設置による保育の受け皿確保
- (3) 保育アテンダント事業
(保護者相談業務の拡充)
- (4) 入所選考へのAI活用によるマッチングの拡大
- (5) 子育て世代への多様な保育の受け皿のPR

(保育の受け皿の拡大)		財源			継続 ・ 新規	概要
		国	県	市		
1 施設整備による利用定員の拡大						
(1)	保育施設の整備	○	○	○	継続	施設の整備による定員増
(2)	企業主導型保育支援			○	継続	企業が設置する企業主導型保育施設の経費の一部補助
2 既存施設での受入拡大						
(1)	私立幼稚園預かり保育支援			○	継続	預かり保育を充実させる私立幼稚園へ経費の一部を補助
(2)	幼稚園送迎ステーション事業	○		○	新規	幼稚園開園時間の前後に預かり保育を行う「送迎ステーション」を設置し、地域型保育の卒園児が転園の際、幼稚園を選択できるよう支援

(保育の受け皿の拡大)		財源			継続・新規	概要
		国	県	市		
2 既存施設での受入拡大						
(3)	保育アテンダント事業	○	○	○	拡充	専任相談員を増員し、保護者への案内・相談機能強化を図る
(4)	AIを用いた入所選考			○	継続	入所選考にAI(人工知能)を活用。希望施設数増によるマッチングの拡充
(5)	子育て世代への多様な保育の受け皿PR			○	新規	①タウン情報誌で多様な受け皿を紹介、子育て世代に広くPRする ②乳幼児健診時に、多様な受け皿の存在とメリットを発信

保育士の確保

1 現職保育士の支援

処遇改善

(1) 保育士宿舎借り上げ支援

労働環境改善

(2) 保育支援員の雇用支援
(3) 保育士の働きやすい
職場づくり事業
(4) 保育関係記録共通様式作成

2 潜在保育士の確保

就労支援

(1) 保育所実地研修事業
(2) 就職相談会等サポート事業
(3) UIJターン保育士等就労支援
(4) 保育人材バンクの設置

3 新卒保育士の確保

就学支援

(1) 保育士等奨学資金貸付事業

就労支援

(2) 保育士するなら福島市！
プロモーション事業

令和3年度 待機児童対策推進パッケージ(案) 主な内容

(保育士の確保) 1 現職保育士の支援		財源			新規・継続	概要
		国	県	市		
(1)	保育士宿舎借り上げ支援事業	○		○	継続	保育士の宿舎を借り上げる保育施設へ経費の一部を補助
(2)	保育支援員(保育士資格なし)雇用支援	○		○	継続	保育士の業務をサポートする支援員を雇用する保育施設へ経費の一部を補助
(3)	保育士の働きやすい職場づくり事業 ①保育職場ハッピー！大作戦事業 ②保育施設トップセミナー ③保育士マネジメント研修			○	継続	①「保育職場ハッピー！大作戦チーム」が保育施設を訪問し、働きやすい職場づくりを図る ②保育施設(法人)のトップを対象にしたセミナー開催により、保育職場の環境改善を図る ③階層別マネジメント研修の実施。
(4)	保育関係共通様式作成プロジェクトチーム				継続	私立・公立保育士の協力による共通様式の作成・改善等により、現職保育士の業務を支援

(保育士の確保) 2 潜在保育士の確保		財源			新規 ・ 継続	概要
		国	県	市		
(1)	潜在保育士就労支援事業			○	継続	①公立保育所での実地研修を実施し就労を支援 ②私立保育施設で実地研修を実施し、就労を支援した経費の一部を補助
(2)	保育士等就労サポート事業			○	継続	就職相談会の開催等により就労を支援
(3)	UIJターン保育士等就労支援事業			○	継続	県外在住保育士等が市内認可保育施設等へ就労する際の必要経費を補助
(4)	保育人材バンク事業			○	継続	市内の保育施設等への就労を支援するため、「保育人材バンク」を活用

(保育士の確保) 3 新卒保育士の確保		財源			新規・継続	概要
		国	県	市		
(1)	保育士等奨学資金貸付事業			○	継続	保育士等養成校の学生に修学のための資金を無利子で貸付 卒業後市内の保育施設等への就労状況に応じ返還を減免
(2)	保育士するなら福島市！プロモーション事業 ①保育士養成校での保育施設紹介セミナー開催 ②認可保育施設見学会 ③保育施設就職相談会「Webセミナー」開催 ④オンライン相談窓口開設 ⑤動画によるPR実施			○	①② 継続 ③④ 新規 ⑤継続	①保育士養成校で市内の保育施設を紹介するセミナーを開催 ②保育施設見学会の実施により、保育学生の就労を支援 ③就職相談会で県外の保育学生等を対象とするオンラインセミナーを実施 ④オンライン相談窓口を設置し、県外学生の市内への就労を支援 ⑤保育士募集PR動画を活用し、本市の保育士支援内容を周知